

## 募集要項

## 1. 本誌の目的

本誌は、日本脳神経外科コンgresの機関誌として、脳神経外科および神経科学の最新の情報を提供し、脳神経外科医の知識水準および臨床技術を高めることを目的とします。

## 2. 論文の内容について

脳神経外科の発展に貢献しうるオリジナリティに富んだ論文を歓迎します。なお、国内・国外問わず、部分的であっても他誌に掲載されたものや投稿中のものはお断りいたします。また、臨床的研究および動物実験において倫理性が守られていることを要します。最新の法律や倫理指針等に則っている研究報告を受け付けます。日本脳神経外科学会の「人を対象とする医学系研究の学会発表や論文投稿において遵守すべき倫理指針」に遵守すべき法律や指針がまとめられていますので、参照して下さい。倫理委員会の承認を得ている場合には、その旨と承認番号を本文（対象と方法など）に明記してください。ランダム化比較試験（randomized controlled trial：RCT）論文の場合は、改訂版 CONSORT 声明（The revised CONSORT statement for reporting randomized trials：Explanation and elaboration. Annals of Internal Medicine 2001；134（8）：663-694）に準じることとし、RCTでは臨床研究の事前登録（UMIN等）がない場合は掲載されません。

## 3. 論文の審査について

投稿論文の採否は編集委員会で決定いたします。場合により原稿の一部改正または訂正を求めることがあります。修正を求められた場合は、原則、一部修正の場合は30日、大幅修正の場合は90日以内に修正原稿を再投稿してください。期限を過ぎた場合は、新規投稿論文として処理されますのでご留意ください。なお、著者は日本脳神経外科コンgres会員であることが原則となっておりますので、非会員の場合は、入会手続きを行ってください。

## 4. 論文の種類と長さについて

①論文掲載形式は、原著、症例報告、手術手技・周術期管理、短報とし、長さは下記のとおりとします。

論文種類	刷上り頁数	原稿枚数* (25字×24行)
総説	6頁まで	20枚(図・表含む)
原著	6頁まで	20枚(図・表含む)
症例報告	5頁まで	17枚(図・表含む)
手術手技・ 周術期管理	5頁まで	17枚(図・表含む)
短報	3頁まで	10枚(図・表含む)

(\*原稿枚数はおよその目安です)

- ・写真・図・表は縦12.5cm×横8cmのものが原稿用紙1枚(25字×24行)に相当します。あるいは、1点につき刷上りで1/4頁強とご勘案ください。
- ②超過論文の採否は編集委員会に一任してください。超過分掲載料は1頁(刷上り)10,000円とします。

## 5. 投稿方法について

本会ホームページ>脳神経外科ジャーナル>online submissionの電子投稿システム「ScholarOne Manuscripts™」(以下、S1M)よりご投稿ください。

- ①論文(文書データ):表題頁,英文抄録,要旨,本文,文献,図・表の説明文(legends)の順に改頁をし,1データとしておまとめください(Wordデータのみ)。
- ②S1Mサイトにアクセスし,アカウントを作成してください(初回投稿時のみ)。連絡先・メールアドレスなどの変更がある場合は,各自でアカウント情報の修正を行ってください。
- ③用意したファイル(論文原稿,表,図)をアップロードしてください。
- ④アップロードするファイルサイズは,すべてのファイルの合計で20MB以下としてください。

## 執筆要項

## 1. 原稿の体裁について

- ①原稿は「表題頁→英文抄録→要旨→本文→文献→図・表の説明文(legends)」の順とし,必ず英文抄録から通しナンバーを入れてください。
- ②表題頁は,表題,著者名,所属,筆頭著者の住所(連絡先),図・表の数を明記してください。なお,表題,著者名,所属,連絡先は和英併記とします。
- ③原稿サイズはA4判に設定し,和文では1行の字数は25字,1枚の行数は24行とし,行間は5mm以上あけてください(1枚600字)。欧文では,文字の大きさは12ポイントとし,1枚の行数は26行以内で,行間は10mm以上あけ,上下左右に十分なスペースを残すようにしてください。
- ④表ならびに図は,別個に投稿フォームへ添付してください。

## 2. 記述・用語について

- ①専門用語以外は常用漢字,現代かな使い(ひら仮名)を用い,平易明瞭に,句読点は正確に書いてください。
- ②外国語(文献,人名,薬品名,地名)は原語を使い,ドイツ語および固有名詞以外は小文字とします。ただし日本語化しているものはカタカナとします。
- ③略語は文中で頻回に用いられる術語で,習慣的に略語として用いられるもののみとし,初出の箇所での内容を明記してください。

- ④数字は算用数字を用い、度量衡単位はCGS単位で、m, cm, mm, cm<sup>2</sup>, l, dl, ml, kg, g, mg, μg, ng, hr, min, sec, msecなどとしてください。髄液細胞数は/mm<sup>3</sup>もしくは/μlと表します。
- ⑤「脳神経外科学用語集」(改訂第2版)および「日本医学会医学用語辞典」(第3版)に準拠してください。

### 3. 論文の構成について

- 以下の順序で整えてください。④は③の末尾に、その他①, ②, ⑤, ⑥はそれぞれ別立てとしてください。
- ①英文抄録 (abstract): 必ず添えてください。A4の用紙にダブルスペースまたは行間10 mm以上で作成し(A4用紙に26行以内)、長さは総説、原著で400語、症例報告、手術手技・周術期管理、短報で250語以内とします。形式は本誌掲載時と同様、表題、著者名、所属を明記し、内容は、目的、方法、結果、結論を簡潔明瞭に示し、新しく重要な知見を明らかにしてください。また、最後にkey wordも付してください。key wordsは5個以内(Index MedicusまたはJournal of Neurosurgeryに則って英語またはラテン語で指定)とします。
- ②論文要旨: 英文抄録との整合性に留意し、和文で300字以内にまとめてください。
- ③本文: 基本的に、「緒言(はじめに)」、「方法・症例」、「結果(または症例のまとめ)」、および「考察」から構成してください。
- ・緒言(はじめに): 研究の目的、研究を行う理由、その背景を簡潔に述べてください。
  - ・方法: すでに発表されている場合には詳述は避けるが、最小限の情報は提供するようにしてください。
  - ・結果(症例報告のまとめ): 簡潔に記述してください。
  - ・考察: 新たな知見を強調し意味付けを行います。方法・結果に述べてある詳しい情報は繰り返さないでください。
- ④研究費交付および謝辞など。
- ⑤文献(記載方法は下記の執筆要項4に従ってください)
- ⑥図・表および図・表の説明(執筆要項5に従ってください)

### 4. 文献について

- 必要最小限として記載は次の形式を守ってください。
- ①本文ならびに図表に引用されたもののみを挙げてください。
- ②記載順序は著者名のアルファベット順とし、同一著者の場合は発表順とします。本文中の引用箇所には肩番号を付して照合してください。
- ③著者氏名、編集者氏名、監修者氏名は全員記載してください。
- ④雑誌名は各雑誌指定の文献略称で表記してください。
- ⑤雑誌および書籍の表記法は以下のとおりとさせていただきます。

〈雑誌の場合〉

著者氏名: 題名. 誌名 巻:(始めと終わりの頁), 発行年(西暦).

- 1) 岩田 誠, 萬年 徹: 甲状腺中毒症における錐体路徴候. 神経内科 16: 323, 1982.
- 2) Kashiwagi S, van Loveren HR, Tew JM, Wiot JG, Weil SM, Lukin RA: Diagnosis and treatment of vascular brainstem malformations. *J Neurosurg* 72: 27-34, 1990.

〈書籍の場合〉

著者氏名: 書名. 発行地, 発行所, 発行年. あるいは著者氏名: 題名. 編集者氏名: 書名. 発行地, 発行所, 発行年, 頁(始めと終わりの頁).

- 1) Epstein FJ: Increased intracranial pressure in hydrocephalic children with functioning shunts: A complication of shunt dependency. in Shapiro K, Marmarou A, Portnoy H (eds): *Hydrocephalus*. New York, Raven Press, 1984, pp.315-321.
  - 2) 半田 肇: 脳神経外科学. 大阪, 永井書店, 1986.
  - 3) Hoffman HJ, Griebel RW, Hendrick EB: Congenital spinal cord tumors in children. in Symon L (ed): *Advances and Technical Standards in Neurosurgery, vol 14*. New York, Springer-Verlag, 1986, pp.175-200.
  - 4) 菊池晴彦, 白馬 明, 永田 泉: 脳血管障害. 菊池晴彦編: 脳神経マイクロサージャリー. 東京, 医学書院, 1988, pp.78-89.
  - 5) Konig JFR, Klippel RA: *The Rat Brain: A Stereotaxic Atlas of the Forebrain and Lower Parts of the Brain Stem*. Baltimore, Williams & Wilkins, 1963.
- ⑥本誌論文を文献引用される場合、下記の略称で表記してください。国内用:「脳外誌」、国外用:「Jpn J Neurosurg (Tokyo)」

### 5. 写真・図・表について

- ①写真・図・表は鮮明なものを用意してください。
  - ②図・表およびその説明(legends)はすべて英文表記とし、図・表の説明はそれぞれを別紙にダブルスペースまたは行間10 mm以上でタイプしてください(A4用紙に26行以内)。
  - ③他の雑誌、単行本の図・表などをそのまましくは修正を加えて引用するときは、原則として著作権規定に照らした引用許可が必要です。その際は、出典もしくは許可がある旨を、図・表の説明に英文で明記してください。また、出版社および著者から得た許可証は原稿に添えて提出してください。
- なお、著作権規定、または引用許可に関する詳細は、『著作権の知識』(日本医書出版協会)を参照してください。
- ④図・表の挿入箇所は、本文の該当箇所にカッコにその番号を入れてください。また、Fig. 1, Table 1などの文字は青色表記としてください。
  - ⑤表には、おのおのに筆頭著者名と表番号を書いてください。
  - ⑥写真について
- ・用紙設定をA4判にし、1枚ずつ配置してください。余白には、筆頭著者名と図番号を明記してください。
  - ・大きさはキャビネ大(18×13 cm)程度にしてください。著者による縮小・トリミングなどのサイズ指定は自由ですが、決定は編集委員会に一任してください。
  - ・組写真はできるだけサイズの統一を計り、Fig. 1A, B...などと区別をつけてください。
  - ・被写体の人格権はこれを尊重してください。
  - ・光顕写真には染色方法と倍率を付記し、電顕写真にはバーを入れてください。
  - ・CT, MR image (positron CT, SPECTを含む)においては、軸位断では左右を明確に表示し、冠状断では患者の右側が写真の左側

になるように配置してください。

- ・血管撮影、骨髄造影、気脳撮影などにおいては、前後像は患者の右側が写真の左側になるように配置し、右側面像はR、左側面像はLと明記してください。
- ・例外として、カラー写真での掲載を希望される場合は、必要最小限の枚数とし、費用は著者の実費負担とします。

## 6. 著者校正について

1回のみ行います（赤字で記入してください）。

## 7. 別刷りについて

別刷りは30部まで無料です。30部を超える場合は、50部単位で実費作製いたします。校正刷返送の際に所定の用紙にその旨を明記し、お申し込みください。

## 8. 著作権・出版権について

本誌に掲載された論文（写真・図・表含む）の著作権および出版権（「翻訳権、翻案権等二次的著作物の著作権」および「二次的著作物の利用に関する権利」ならびに電子的使用を含む）は、日本脳神経外科コンgres機関誌編集委員会に帰属し、そのままもしくは修正を加えた引用、転載には事前許諾が必要です。直接日本脳神経外科コンgres事務局（E-mail: jcns@juntendo.ac.jp）へご連絡ください。

## 9. COIについて

本誌に投稿する著者全員は、COI状態を論文投稿時に明らかにしてください。著者が日本脳神経外科学会の場合には日本脳神経外科学会への過去3年1月～12月におけるCOI自己申告書オンライン登録がすでに完了している必要があります。投稿責任者は、論文本文末（文献の前）に本論文に関するCOI状態を明記してください。

〈記載例〉

### ①日本脳神経外科学会会員で、開示すべきCOIがない場合

例) 著者全員は日本脳神経外科学会へのCOI自己申告の登録を完了しています。

本論文に関して開示すべきCOIはありません。

### ②日本脳神経外科学会会員で、開示すべきCOIがある場合

例) 著者全員は日本脳神経外科学会へのCOI自己申告の登録を完了しており、筆頭著者が過去3年1月～12月において本論文に関して開示すべきCOIは下記のとおりです。

A社、B社より寄付金（年間合計200万円以上）

C社より講演料（年間合計100万円以上）

### ③開示すべきCOIはないが、著者に日本脳神経外科学会の非会員がいる場合

例) 著者のうち（該当著者名）は、自己申告によるCOI報告書を日本脳神経外科コンgres事務局に提出しています。その他の著者全員は、日本脳神経外科学会へのCOI自己申告を完了しています。いずれも本論文に関して開示すべきCOIはありません。

## お問合せ先

〒113-0033 東京都文京区本郷6-17-9 本郷綱ビル2階  
（株）三輪書店気付  
日本脳神経外科コンgres機関誌  
『脳神経外科ジャーナル』編集委員会分室  
E-mail: jcns-submission@miwapubl.com  
TEL: 03-3816-7796 FAX: 03-3816-7756